

1日

### 《固定資産税の宅地提示平均価額、2021年度比1.4%上昇》

県は、2024年度からの固定資産税の基礎となる県内市町村の提示平均価額が前回2021年度と比べ、宅地の市部で2.1%上昇した一方、町村部では1.3%下落したと発表した。県全体では1.4%の上昇だった。

### 《県内求人倍率1.30倍》

福島労働局が発表した1月の雇用失業情勢によると、有効求人倍率は1.30倍（季節調整値）で前月を0.05ポイント下回った。同局は「求人が求職を上回って推移しているが、求人に弱まりの動きが見られる」とし、雇用情勢判断を6カ月ぶりに下方修正した。

4日

### 《2月県内倒産13件》

帝国データバンク福島支店が発表した2月の県内企業倒産状況によると、負債額1千万円以上の法的整理による倒産件数は13件（前年同月比4件増）、負債総額は13億400万円（同20億円減）だった。2月単月の倒産件数で見ると、過去10年間で最多となった。

5日

### 《「100年フード」県内3件認定》

文化庁は、地域に根づく食文化をPRする「100年フード」に、本県の高田梅漬け（会津美里町）、しょうゆラーメンの郡山ブラック（郡山市）、塩川鳥モツ（喜多方市）の3件を含む26都道府県の50件を認定した。郷土料理やB級グルメが対象で認定は3回目となる。

6日

### 《県内賃上げ予定8割超》

東京商工リサーチ郡山支店が発表した賃上げに関する県内企業調査によると、新年度に賃上げすると回答した企業の割合は80.8%だった。2016年度以降では3番目の高さとなったが、前回調査（昨年2月実施）時と比べ2.2ポイント低下した。

7日

### 《双葉郵便局、13年ぶり再開》

東京電力福島第一原発事故後、営業を休止し

ていた双葉郵便局（双葉町）が、町内の移転先に建て替えられ、13年ぶりに再開した。日本郵便によると、営業する郵便局が一つもない自治体は全国で双葉町だけだったが、これで解消した。

8日

### 《F-REIと東北大、新年度に連携大学院開設》

福島国際研究教育機構（F-REI）と東北大学（仙台市）は、新年度、同大学院医学系研究科医科学専攻内に連携大学院「放射線環境生体医学連携講座」を開設する。同大の教員に加え、F-REIの研究者が指導役となり、放射性物質の健康影響の研究、災害関連疾患の予防・治療に当たる人材育成を進める。

15日

### 《県貿易概況、輸出入額前年下回る》

横浜税関小名浜税関支署は、2023年の県貿易概況（輸出は確報値、輸入は速報値）を発表した。小名浜、相馬両港と福島空港を合わせた輸出額は1,336億800万円（前年比34.4%減）、輸入額は9,434億7,200万円（同6%減）だった。

26日

### 《県内地価3年連続プラス》

国土交通省が発表した公示地価（1月1日時点）によると、県内の全用途平均変動率はプラス0.8%と3年連続の上昇となった。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流の回復で都市部などを中心に地価が上昇する一方、人口減や過疎化が著しい郡部では住宅地、商業地ともに下落傾向に変化はみられず二極化がより鮮明となった。

28日

### 《福島市観光客入り込み数、過去最多》

福島市が発表した2023年の観光客入り込み数は、過去最多を記録した前年をさらに上回る828万人（前年比1.1倍）だった。同市は新型コロナウイルス感染症の5類移行に加え、これまで市が取り組んできた各種観光振興策の成果が表れたことが要因とみている。